

■After 建築名称 下段: 英語名	コンテナ町家 Nagaya and Historical Alley with Containers in Kyoto			
建築用途	大分類 事務所、商業施設	小分類 複合テナント施設		
改修設計者	建築: 魚谷繁礼建築研究所、構造: 満田衛資構造計画研究所、コンテナ: muura		URL	
所在地	京都府京都市中京区式阿弥町130		Google Map	After 既存長屋の脇に鉄骨を設置し上空にコンテナを設置
改修年	2019年		撮影者 提供者	柳沢伸也 (2024年)
建築規模	コンテナ19基、長屋3軒		概要 after	伝統的長屋を残し上空に鉄骨造2層のコンテナ19基を設置した複合テナント施設。木造町家とコンテナの混在という不思議な組合せながら、京都らしいスケール感の路地空間が形成されている。
掲載書誌	新建築2020年7月号、商店建築2020年8月号			
賞・選定	2020年JIA新人賞			
■Before 建築名称	長屋(個人住宅)		概要 before	約100年前に建てられた伝統的木造長屋と駐車場。
建築用途	大分類 住居施設	小分類 個人住宅		
■写真 Before	After 京都市条例に従ったファサード		After 建物入口のカフェバーと前庭空間	
				
撮影者 提供者	撮影者 提供者 柳沢伸也 (2024年)		撮影者 提供者 柳沢伸也 (2024年)	
■リノベーション内容	キーワード 新築	内容 築約100年の老朽化した伝統的木造長屋を保存しつつ、上空に鉄骨フレームと大屋根をかけて、物流コンテナを並べた複合テナント施設。木造長屋3軒と物流コンテナ19基の共存という不思議な組合せながら、京都らしいスケール感の路地空間が形成されている。 正面の壁には木ルーバーと平入りの勾配屋根が設けられ、京都市条例に従ったファサードが形成されている。 建物入口にはコンテナのカフェバーが設置され、半屋外の前庭と共に交流スペースを形成している。 コンテナ町家は「共創自治区」というコンセプトの元、デザイナーやコンサルタント、不動産事業者、福祉医療施設事業者など様々なテナントが満室状態で入居し、新たな魅力と価値を創造している。		
■備考	鉄骨造の大屋根の下に設置されたコンテナのテナントと、その向こうに歴史的な雑多な街区風景が広がる。			
■作成者 氏名/所属	柳沢伸也/JIA再生部会		作成協力	魚谷繁礼建築研究所